

# ワクチン接種を受ける人へのガイド

2023年4月更新

## 肺炎球菌ワクチン

### 【このワクチンの名前は？】

販売名	ニューモバックスNPシリンジ PNEUMOVAX NP Syringes
一般名	肺炎球菌ワクチン Pneumococcal vaccine

#### ワクチン接種を受ける人へのガイドについて

ワクチンの正しい理解と、重大な副反応の早期発見などに役立てていただくために、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、特に知っていただきたいことをわかりやすく記載しています。添付文書情報はPMDAホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に掲載されています。 ※副反応：ワクチンの副作用のこと

### 【このワクチンの効果は？】

- ・ このワクチンは、次の目的で接種されます。
  - 2歳以上で肺炎球菌による重篤疾患に罹患する危険が高い次のような個人及び患者
    - 1. 脾摘した人における肺炎球菌による感染症の発症予防
    - 2. 肺炎球菌による感染症の予防
      - 1) 鎌状赤血球疾患、あるいはその他の原因で脾機能不全である患者
      - 2) 心・呼吸器の慢性疾患、腎不全、肝機能障害、糖尿病、慢性髄液漏等の基礎疾患のある患者
    - 3) 高齢者
    - 4) 免疫抑制作用を有する治療が予定されている人で治療開始まで少なくとも14日以上余裕のある患者
- ・ このワクチンの接種により23種類の肺炎球菌に対する抗体ができ、これらの種類の肺炎球菌による感染症を予防します。

## 【このワクチンの接種前に、確認すべきことは？】

- ワクチン接種を受ける人または家族の方などは、このワクチンの効果や副反応などの注意すべき点について十分理解できるまで説明を受けてください。説明に同意した上で接種を受けてください。
- 医師が問診、検温および診察の結果から、接種できるかどうか判断します。
- 次の人は、このワクチンの接種を受けることはできません。
  - ・ 2歳未満の人
  - ・ 明らかに発熱（通常37.5℃以上）している人
  - ・ 重篤な急性疾患にかかっている人
  - ・ 過去にこのワクチンに含まれる成分でアナフィラキシーをおこしたことがある人
  - ・ 上記以外に医師が予防接種を行うことが不適切な状態にあると判断した人
- 次の人は、医師が健康状態や体質に基づいて、接種の適否を判断します。
  - ・ 心臓や血管、腎臓、肝臓、血液の障害や発育の障害などの基礎疾患がある人
  - ・ 他のワクチンの接種を受けて、2日以内に発熱があった人や全身性の発疹などアレルギーが疑われる症状が出たことがある人
  - ・ 過去にけいれんをおこしたことがある人
  - ・ 過去に免疫に異常があると診断されたことがある人や両親や兄弟に先天性免疫不全症の人がいる人。
  - ・ このワクチンの成分に対してアレルギーをおこすおそれがある人
  - ・ 過去にこのワクチンを接種したことのある人（【このワクチンの接種後に気をつけなければならないことは？】の項をご参照ください。）
  - ・ 高齢の人
- 妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- 併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

## 【このワクチンの接種スケジュールは？】

### ● 接種量および回数

1回0.5mLを筋肉または皮下に注射します。

#### [定期接種<sup>i</sup>]

これまでにこのワクチンを1回も接種したことがなく、以下のどちらかに当てはまる人が定期接種として1回接種できます。

- ・ 2023年度末までは、その年度内に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳または100歳になる人  
なお、2019年度末までは、2018年3月31日において100歳以上の人も定期接種の対象となります。
- ・ 60歳から64歳の人のうち次の人
  - ・ 心臓、腎臓、呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限されている人
  - ・ ヒト免疫不全ウイルス（HIV）により免疫機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な人

このタイミングで、接種を受けられなかった場合は医師に相談してください。

#### [任意接種<sup>ii</sup>]

- ・ 希望される場合には医師に相談してください。

i 定期接種：予防接種法で定められた予防接種を、定められた年齢で受ける場合

ii 任意接種：予防接種法で定められていない予防接種や、定期接種で定められた年齢から外れて受ける場合

- 医師が必要と認めた場合には、同時に他のワクチンの接種を受けることができます。

## 【このワクチンの接種後に気をつけなければならないことは？】

- ・ 接種当日は激しい運動をしないでください。また、接種部位を清潔に保ち、接種後の健康状態によく気をつけてください。接種部位の異常や体調の変化、さらに高熱やけいれんなどの異常な症状があらわれた場合は、すぐに医師の診察を受けてください。

- ・ 過去5年以内にこのワクチンの接種を受けたことのある人が、再接種を受けると、以前の接種時より注射部位に痛み、赤い発疹、しこり等の副反応が高い頻度や強い程度であらわれると報告されています。再接種を行う場合は、その必要性を医師と相談のうえ、十分な間隔をあけて受けてください。
- ・ 接種後に、アナフィラキシー（全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、息苦しいなど）がおこることがあります。アナフィラキシーは通常接種後30分以内におこることが多いので、この間接種施設で待機するか、すぐに医師と連絡をとれるようにしておいてください。
- ・ 他の医師を受診したり、他のワクチンを接種したりする場合は、必ずこのワクチンを接種したことを医師、薬剤師または看護師に伝えてください。

## 副反応は？

特にご注意いただきたい重大な副反応と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副反応であれば、それぞれの重大な副反応ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師に相談してください。

重大な副反応	主な自覚症状
アナフィラキシー様反応 アナフィラキシーようはんのう	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血がとまりにくい
知覚異常 ちかくいじょう	ピリピリ感、ムズムズ感
ギランバレー症候群 ぎらんばれーしょうこうぐん	両側の手や足に力が入らない、歩行時につまずく、階段を昇れない、物がつかみづらい、手足の感覚が鈍くなる、顔の筋肉がまひする、食べ物が飲み込みにくい、呼吸が苦しい
蜂巣炎・蜂巣炎様反応 ほうそうえん・ほうそうえんようはんのう 注射部位壊死、注射部	皮膚の痛みと熱を伴った赤いはれ、発熱、寒気、黒褐色調の変色、注射した部位のびらん・潰瘍形成

位潰瘍 ちゅうしゃぶいえし、ちゅうしゃぶ いかいよう	
----------------------------------	--

以上の自覚症状を、副反応のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副反応ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	ふらつき、出血が止まりにくい、発熱、寒気、
顔面	鼻血、顔の筋肉がまひする
眼	物がつかみづらい
口や喉	喉のかゆみ、歯ぐきの出血、食べ物が飲み込みにくい
胸部	動悸、息苦しい、呼吸が苦しい
手・足	両側の手や足に力が入らない、歩行時につまずく、手足の感覚が鈍くなる
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹、あおあざができる、皮膚の痛みと熱を伴った赤いはれ、黒褐色調の変色、注射した部位のびらん・潰瘍形成
筋肉	階段を昇れない
その他	ピリピリ感、ムズムズ感

## 【このワクチンの形は？】

性状	無色澄明な水性注射剤
容器の形状	

写真はほぼ原寸大です。

## 【このワクチンに含まれているのは？】

有効成分	肺炎球菌きょう膜ポリサッカライド 1、2、3、4、5、6B、7F、8、9N、9V、 10A、11A、12F、14、15B、17F、 18C、19A、19F、20、22F、23F、 33F
添加剤	フェノール、塩化ナトリウム

## 【このワクチンについてのお問い合わせ先は？】

- ・ 症状、使用方法、副反応などのより詳しい質問がある場合は、医師や薬剤師、看護師にお尋ねください。
- ・ 一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：MSD株式会社

(<https://www.msd.co.jp>)

MSDカスタマーサポートセンター

フリーダイヤル：0120-024-964

受付時間：9：00～17：30

(土日祝日・製造販売会社休日を除く)